

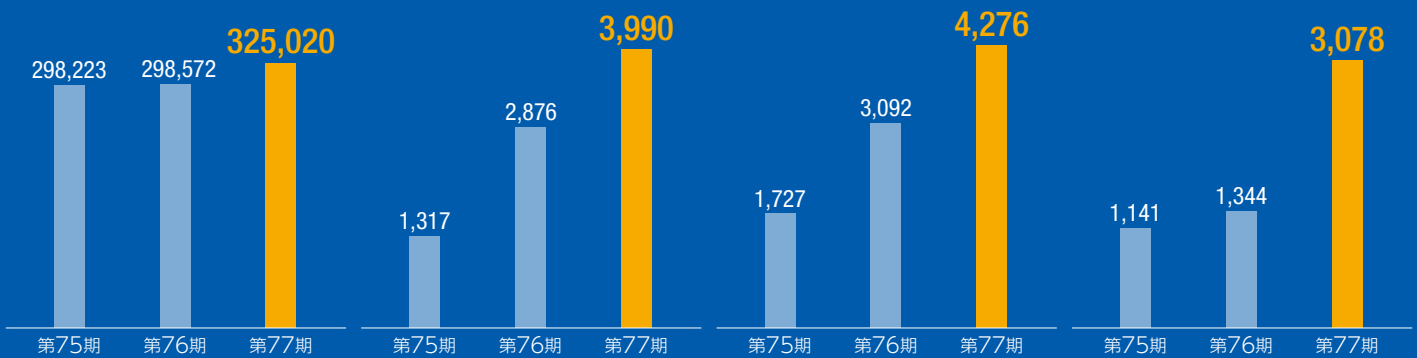
第77期 年次報告書

2022.4.1～2023.3.31

証券コード：8041

[業績ハイライト] 第77期の連結業績

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
325,020 百万円	3,990 百万円	4,276 百万円	3,078 百万円
前年 同期比 8.9%増 ↑	前年 同期比 38.7%増 ↑	前年 同期比 38.3%増 ↑	前年 同期比 128.9%増 ↑
(単位:百万円)	(単位:百万円)	(単位:百万円)	(単位:百万円)



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第76期の期首から適用しております。

第78期 通期の連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
330,000 百万円	3,000 百万円	3,200 百万円	2,200 百万円
前年 同期比 1.5%増 ↑	前年 同期比 24.8%減 ↓	前年 同期比 25.2%減 ↓	前年 同期比 28.5%減 ↓



グループ経営基盤の強化に努めるとともに、食文化の発展に貢献し、企業価値を最大化してまいります。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第77期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

代表取締役社長 橋爪 康至

2023年6月

事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、経済活動の回復は徐々に進行しており、所得情勢には回復への足踏みがみられるものの、個人消費、生産活動、設備投資、雇用情勢には総じて持ち直しの動きがみられませんでした。

先行きは、新型コロナウイルス感染症の収束動向や国内外の経済情勢など不透明な状況にあります。

消費者心理は、経済情勢の先行き不透明感や消費者物価の高騰等により厳しい状況にあります。また、消費者購買行動は、厳しい消費者心理を反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、新型コロナウイルス禍からの社会活動の回復が徐々に進み、内食関連需要から外食・宿泊関連需要に一部シフトがみられるものの、内食関連需要は比較的堅調に推移しました。また、インバウンド関連需要や輸出についても回復が徐々に進んでいます。

また、価格動向については、円安やロシアのウクライナ侵攻の影響によるエネルギー価格の高騰などを反映し、輸入水産物を始め、国内水産物においても調達価格は上昇し、これに呼応して販売価格も全般的に上昇しました。

業界環境としては、価格上昇により需要が減少傾向にある中、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、厳し

い状況下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

また、『OUGグループ中期経営計画2021』(2021年度～2023年度)を実践することにより、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させるべく注力してまいりました。

当連結会計年度の経営成績は、売上高は3,250億20百万円(前年同期比108.9%)となりました。損益面では、売上総利益は284億66百万円(前年同期比106.0%)となり、営業利益39億90百万円(前年同期比138.7%)、経常利益42億76百万円(前年同期比138.3%)、親会社株主に帰属する当期純利益30億78百万円(前年同期比228.9%)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

●水産物荷受事業

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、外食・中食関連の販売に回復傾向が見られる中、内食関連の販売も堅調に推移しており、入荷量の減少や販売価格の上昇を受け販売数量は減少しましたが、売上高は拡大しました。利益面については、調達コスト上昇と一部冷凍魚の相場下落により売上

総利益率が低下したことから、売上高1,995億57百万円(前年同期比106.4%)、セグメント利益24億59百万円(前年同期比87.8%)となりました。

●市場外水産物卸売事業

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、内食関連の販売が堅調に推移し、外食・宿泊関連の販売に加え、インバウンド需要も回復が徐々に進み、販売価格の上昇もあって売上高は伸長し、調達コスト上昇がありました。売上高1,264億56百万円(前年同期比111.5%)、セグメント利益4億14百万円(前年同期はセグメント損失5億45百万円)となりました。

●養殖事業

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、年末の最需要期以降も上昇した販売価格は堅調に推移し、販売数量は減少したものの売上高は伸長し、飼料、資材、燃料費等の値上げによる生産コストの上昇を吸収して、売上高93億28百万円(前年同期比110.4%)、セグメント利益10億96百万円(前年同期比167.5%)となりました。

●食品加工事業

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、輸入原材料の調達コスト高騰による販売数量の減少に加え、光熱費等生産コスト、輸送費等販管費の上昇により、売上高44億6百万円(前年同期比94.7%)、セグメント損失77百万円(前年同期はセグメント利益5百万円)となりました。

●物流事業

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、人件費、光熱費等の上昇はありましたが、センターフィー収入の増加により、売上高16

億65百万円(前年同期比104.3%)、セグメント利益7百万円(前年同期比110.3%)となりました。

●その他

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高42億43百万円(前年同期比123.1%)、セグメント損失53百万円(前年同期はセグメント損失1億66百万円)となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症が一定程度収束し、国内外の経済活動が徐々に回復していくことが期待されますが、金融引き締めによる経済の減速、物価上昇による需要の減少など厳しい経済情勢も懸念されます。

水産物流通業界におきましては、円安に起因する水産物価格の上昇等による需要の減少、消費者の日常消費に対する節約志向の継続、業種・業態の垣根を越えた販売競争の激化など厳しい経営環境下にあると予測されます。

2024年3月期は、2021年度から2023年度3カ年を対象とした『OUGグループ中期経営計画2021』(2021年5月11日公表)の最終年度に当たり、当社グループは、引き続きグループ横断的な4つの重点テーマである「鮮魚事業(取引)の拡大」、「加工事業(取引)の拡大」、「エリア戦略の推進」、「海外事業の推進」について、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ取り組み、業績を向上させてまいります。

併せて、グループ情報基盤の整備、グループ品質保証システムの構築、サステナビリティに関連した取組みの推進などグループ経営基盤の強化に努めてまいります。

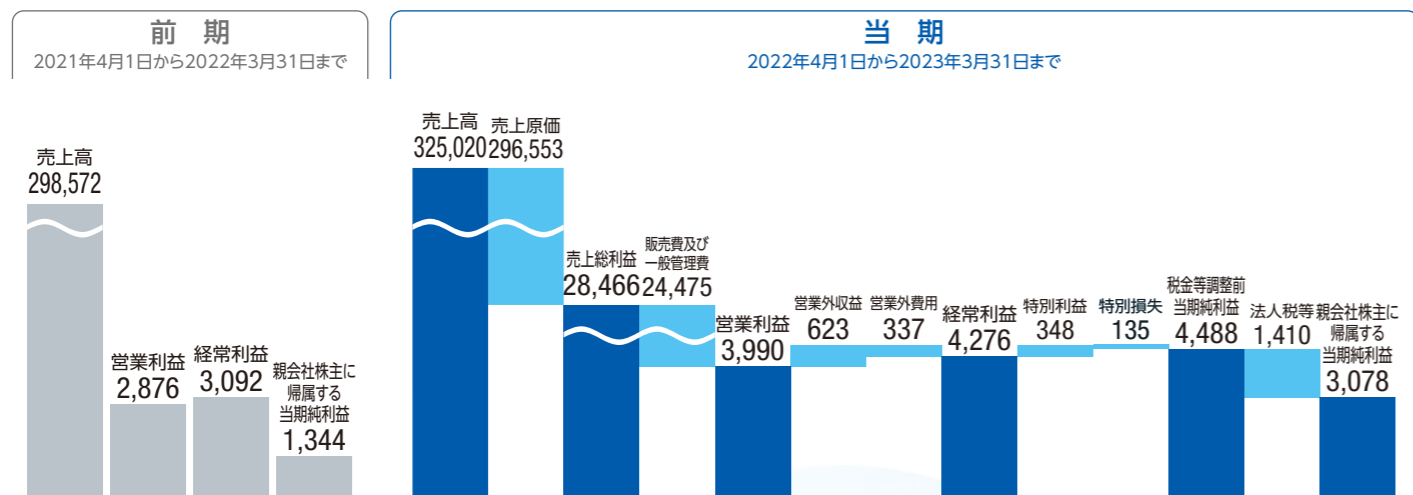
このようなグループ一体としての企業活動を通じ、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより、食文化の発展に貢献し、企業価値を最大化してまいります。

2024年3月期の業績に関しましては、売上高3,300億円、営業利益30億円、経常利益32億円、親会社株主に帰属する当期純利益22億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

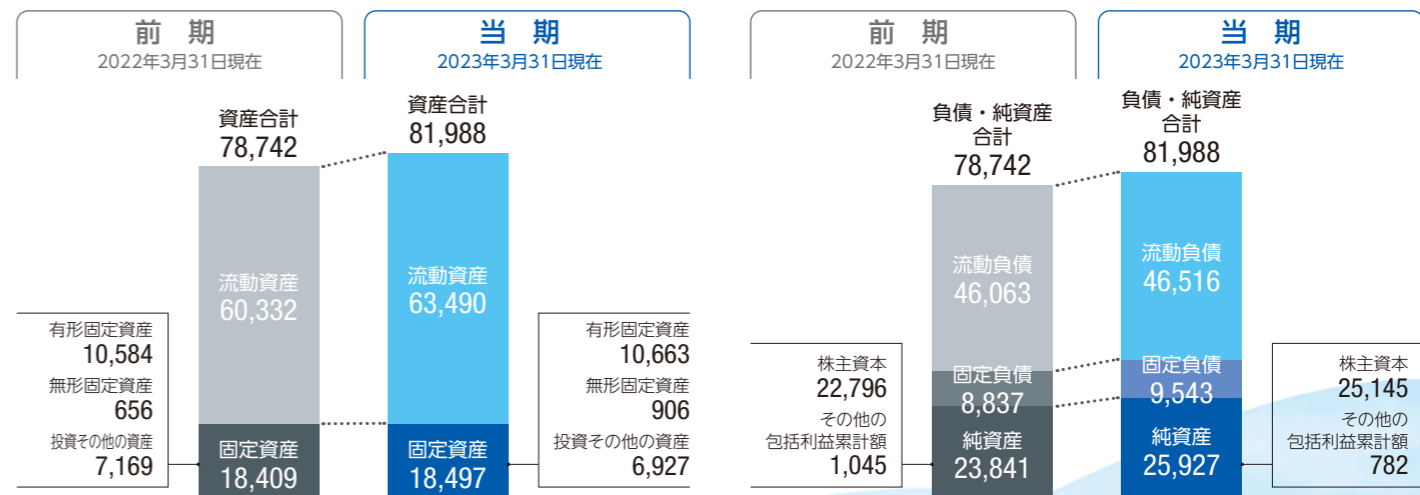
連結財務諸表(要約)

▶ 連結損益計算書のポイント (単位: 百万円)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結貸借対照表のポイント (単位: 百万円)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ホームページリニューアルのお知らせ

当社は、OUGグループをより理解していただくことを目的に、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様への情報発信の充実を図り、IRを意識したコーポレートサイトとして2023年2月にホームページを全面リニューアルしました。

主なりリニューアルポイントについてご紹介します。

今後とも、より一層のご活用をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1



当社のコーポレートカラーであるブルーとオレンジを配色し、全体的により見やすくわかりやすい、柔らかなデザイン構成にしました。

デザインを一新

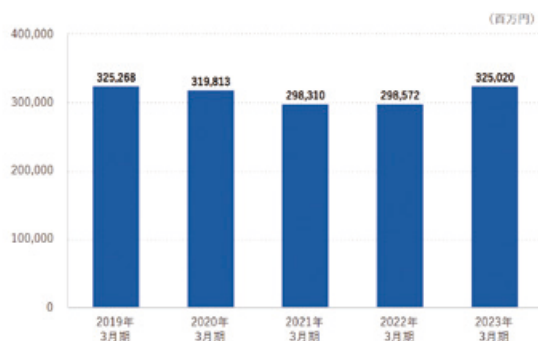
2



当社の成り立ちや当社グループの事業内容について動画等を利用してわかりやすく紹介しています。

グループ事業の紹介を充実

3



当社の各種業績指標等のコンテンツ機能を設けました。業績ハイライトや主要財務指標ならびに配当金の推移等をグラフで表し、投資家の皆様が求める情報をわかりやすく表示しています。

投資家情報の内容を拡充

4



サステナビリティのページを新設し、当社グループのサステナビリティ基本方針やサステナビリティの取組みなどを紹介しています。

サステナビリティの項目を新設

OUGグループ黒門三平が「三井ショッピングパーク ららぽーと門真」に新規出店

株式会社黒門三平は、2023年4月17日、大阪府門真（かどま）市にグランドオープンした「三井ショッピングパーク ららぽーと門真」（以下「ららぽーと門真」）へ新規出店しました。

同社は、OUGグループで水産物小売事業を営み、大阪・日本橋の黒門市場内に本社を構え、百貨店などの店舗や自社サイトを通じて、グループ内で唯一消費者の皆様へ直接水産物を販売しております。

「ららぽーと門真」は「三井ショッピングパーク ららぽーと」と「三井アウトレットパーク」の2業態複合型商業施設であり、同施設1階に大阪・日本橋にある黒門市場のエリアが設けられ、その中に水産物販売店として黒門三平「ららぽーと門真店」を出店する運びとなりました。

同店舗では、OUGグループの商品や生鮮魚介類を取り扱っており、イートインスペースでは、海鮮丼やマグロ丼など新鮮な海の幸を使用した料理を提供しております。

今後も株式会社黒門三平は、グループ会社との連携を密にし、お客様にご満足いただける質の高い商品をお届けできるよう努めてまいります。

オープン前の準備風景



看板商品の海鮮丼



会社情報 / 株式の状況

会社概要

(2023年3月31日現在)

社名	OUGホールディングス株式会社
主要な事業内容	定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。
設立	1946年6月12日(創業1947年10月1日)
資本金	6,495百万円
従業員数	連結1,352名 単独25名

役員 の 体制

(2023年3月31日現在)

取締役	代表取締役社長	橋爪 康至
	代表取締役	中江 一夫
	取締役	岩佐 勇人
	取締役	梅島 信也
	取締役	三浦 正晴 (社外取締役)
	取締役	荻野 義明 (社外取締役)
監査役	常勤監査役	辰 清広
	監査役	和田 徹 (社外監査役)
	監査役	小竹 伸幸 (社外監査役)
	監査役	石川 英機 (社外監査役)
	顧問	勝田 昇
執行役員	執行役員	山田 稔
	執行役員	中村 耕

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

○株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に記録された株式に関する各種手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の上記連絡先の電話(受付時間:土日・祭日等を除く平日9:00~17:00)およびインターネット(24時間)でも承っております。
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

上場金融商品取引所 東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード8041)

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <https://www.oug.co.jp/ja/index.html>

株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,915,900株
発行済株式の総数	5,562,292株
株主数	12,517名

大株主 (上位10名)

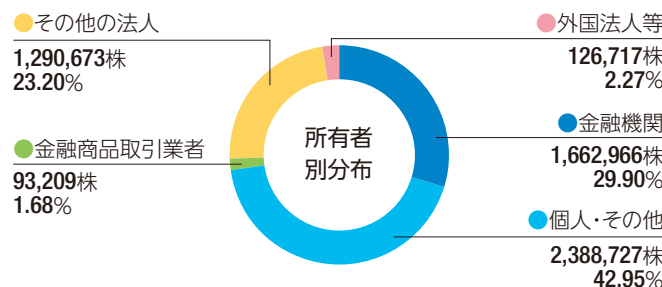
(2023年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
マルハニチロ株式会社	745	13.84
日本生命保険相互会社	265	4.92
農林中央金庫	263	4.90
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	248	4.62
株式会社りそな銀行	147	2.74
株式会社みずほ銀行	140	2.60
三菱UFJ信託銀行株式会社	121	2.26
OUGグループ従業員持株会	119	2.21
丸大食品株式会社	115	2.14
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	102	1.91

(注) 1. 当社は当社名義の株式を179,115株(自己名義失念株式100株を含む)保有しておりますが、上記の大株主(上位10名)からは除いております。
2. 持株比率は、自己株式(179,015株)を控除して計算しております。

株式分布状況

(2023年3月31日現在)



WEB INFORMATION

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、株主優待品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。



<https://www.oug.co.jp/ja/index.html>

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田二丁目13番5号 OUG野田ビル5階
TEL : 06-4804-3031 FAX : 06-4804-3145

免責条項

「報告書」に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

